

## 事業実績書

事業名	「想いをつなぐ」プロジェクト ～生活・終活・居場所 支援～	
場所	沼津市 戸田	
期間	令和7年 6月 1日 ～ 令和8年 3月 30日	
	日程	実施項目・作業項目
事業 内 容		※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)
	6/13	・打ち合わせ ボランティア3名参加
	7/4	・チラシ作り ボランティア2名参加
	8月	・個別にチラシ配り ボランティア3名参加 100世帯配布 ・周知 戸田連合自治会、戸田社会福祉協議会（イーラ戸田） ・くるら戸田にチラシ設置
	8月	・電話での生活・終活の相談が7件あった
	9/6	・生活・終活 相談会、人生年表ワークショップ 開催 参加者11名、スタッフ1名、ボランティア5名
	9/15	・相談があったごみ処分の対応をした。
	10/25	・生活・終活 相談会、人生年表ワークショップ 開催 参加者13名 スタッフ1名、ボランティア5名 ・電話での相談5件
	11/23	・生活・終活 相談会、人生年表ワークショップ 開催 参加者12名 スタッフ1名、ボランティア5名
	1/18	・生活・終活 相談会 開催 参加者7名 スタッフ1名、ボランティア3名
	2/6	・個別にチラシ配り ボランティア3名参加 100世帯配布
	2/7	・生活・終活 相談会、生前整理講座 開催 参加者14名 スタッフ1名、ボランティア5名 ・電話での相談4件
	3/2	・生活・終活 相談会、人生年表ワークショップ 開催 参加者10名 スタッフ1名、ボランティア5名 ・電話での相談3件
3/23	・一年間の総括・打合せ ボランティア4名	
事業効果	<p>※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。</p> <p>本事業では、相談会・イベントの年間延べ来訪者数250人を成果指標として設定している。</p> <p>令和7年度の実績としては、イベント開催7回、参加者延べ67名となり、目標に対する達成率は約27%となった。</p> <p>一見すると数値的には未達ではあるが、本事業は初年度のスタート支援型事業であり、地域に新たな「終活・生活支援」というテーマの居場所を創出する取り組みであることから、まずは認知の向上と関係性の構築に重点を置いた段階であると捉えている。</p> <p>実際に、電話相談は累計19件発生しており、来場には至らないものの、潜在的なニーズの顕在化が進んでいることが確認できる。また、相談をきっかけに具体的な生活課題（ごみ処分）の解決に至った事例もあり、事業の質的な効果は着実</p>	

	<p>に現れている。1年間でリピーターも増えており、居場所としての役割の必要性を感じている。</p>
<p>自己評価</p>	<p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p>本事業では、生活・終活相談や交流イベントを通じて、高齢化と空き家の増加という地域課題に対する新たな支援の形を構築した。チラシ配布や関係団体との連携により周知を進め、電話相談19件、イベント参加者延べ67名と一定のニーズの顕在化につながった。また、ごみ処分など具体的な課題解決に至った事例もあり、実践的な支援として機能し始めている。一方で、来訪者数は目標に届かず課題も残るが、認知と信頼の蓄積が進んでおり、今後の発展が期待できる。</p>
<p>今後の活動予定</p>	<p>※ 補助金を利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>今後は、生活・終活相談会や人生年表ワークショップ、生前整理講座を月1回程度の定期開催とし、地域に定着した居場所づくりを進める。また、来場が難しい高齢者に向けた出張型相談を強化し、電話相談から対面支援へとつなげていく。さらに、交流イベントと組み合わせることで参加しやすい環境を整え、来訪者数の増加を図る。加えて、地域団体との連携を深め、将来的には空き家活用や生活支援へと展開し、持続可能な地域支援の仕組みづくりを目指す。</p>